## 2015 年京大理 6

 $0 < x_{n-1} < 1$  のとき、  $f_0(x)$  が選ばれれば $0 < x_n < \frac{1}{2}$  、  $f_1(x)$  が選ばれれば $\frac{1}{2} < x_n < 1$  となる。

$$x_n < \frac{2}{3}$$
となる条件は

- i)1 つ前の操作で  $f_0(x)$  が選ばれる。このとき  $x_{n-1}$  の値は任意。
- ii)1つ前の操作で $f_1(x)$ が選ばれ、なおかつ $x_{n-1} < \frac{1}{3}$ である。

のいずれかである。

さらに、 $x_{n-1} < \frac{1}{3}$  となる条件は、1 つ前の操作で  $f_0(x)$  が選ばれ、なおかつ  $x_{n-2} < \frac{2}{3}$  である。

この確率は、 $\frac{1}{2}P_{n-2}$ と表せる。したがって、 $P_n$ に関する以下の漸化式を得る。

$$\therefore P_n = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} P_{n-2} + \frac{1}{2} = \frac{1}{4} P_{n-2} + \frac{1}{2} (n \ge 3)$$

ここで、 $P_1$ ,  $P_2$ を求める。

$$x_0 = \frac{1}{2} \mathcal{O} \stackrel{>}{\triangleright} \stackrel{?}{=} f_0(x_0) = \frac{1}{4}, \ f_1(x_0) = \frac{3}{4} > \frac{2}{3} \text{ であるから } :: P_1 = \frac{1}{2}$$

$$x_1 = \frac{1}{4} \mathcal{O} \stackrel{>}{\triangleright} \stackrel{?}{=} f_0(x_1) = \frac{1}{8}, \ f_1(x_1) = \frac{5}{8} < \frac{2}{3} \quad x_1 = \frac{3}{4} \mathcal{O} \stackrel{>}{\triangleright} \stackrel{?}{=} f_0(x_1) = \frac{3}{8}, \ f_1(x_1) = \frac{7}{8} > \frac{2}{3}$$

$$x_2 > \frac{2}{3}$$
 となるのは、 $x_1 = \frac{3}{4}$  かつ  $f_1(x)$  が選ばれたときのみであるから  $\therefore P_2 = 1 - \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{2} = \frac{3}{4}$ 

①、②をまとめると 
$$\therefore P_n = \frac{2}{3} + \frac{1}{3} \left(-\frac{1}{2}\right)^n$$
 ·····(答)